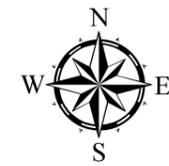


釧路港 津波防災情報図 (進入図)

千島海溝(十勝・根室沖1)地震

計算条件： 最高水面 (零位)
 隆起量： 平均 -1.46m(-1.53 ~ -1.25m)
 Zo： 0.87m
 備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系：メルカトル図法
 測地系：世界測地系 (WGS84)

凡例

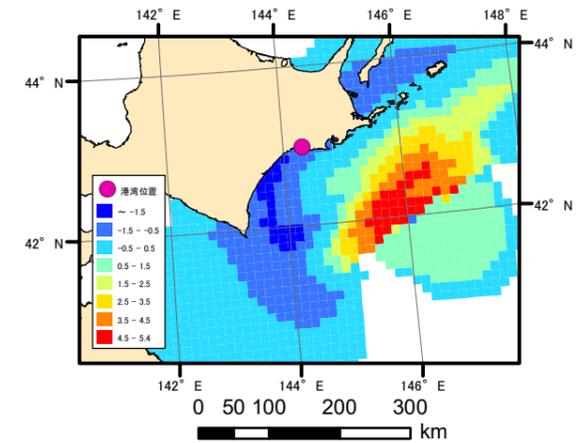
- 最大水位上昇
- 10m以上
 - 5~10m
 - 3~5m
 - 2~3m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満
- 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]
- No. 経時変化図出力点
 (図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

進入時最大流 [knot]

- 12 knot →
- 8 knot →
- 4 knot →

- 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点算出している。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

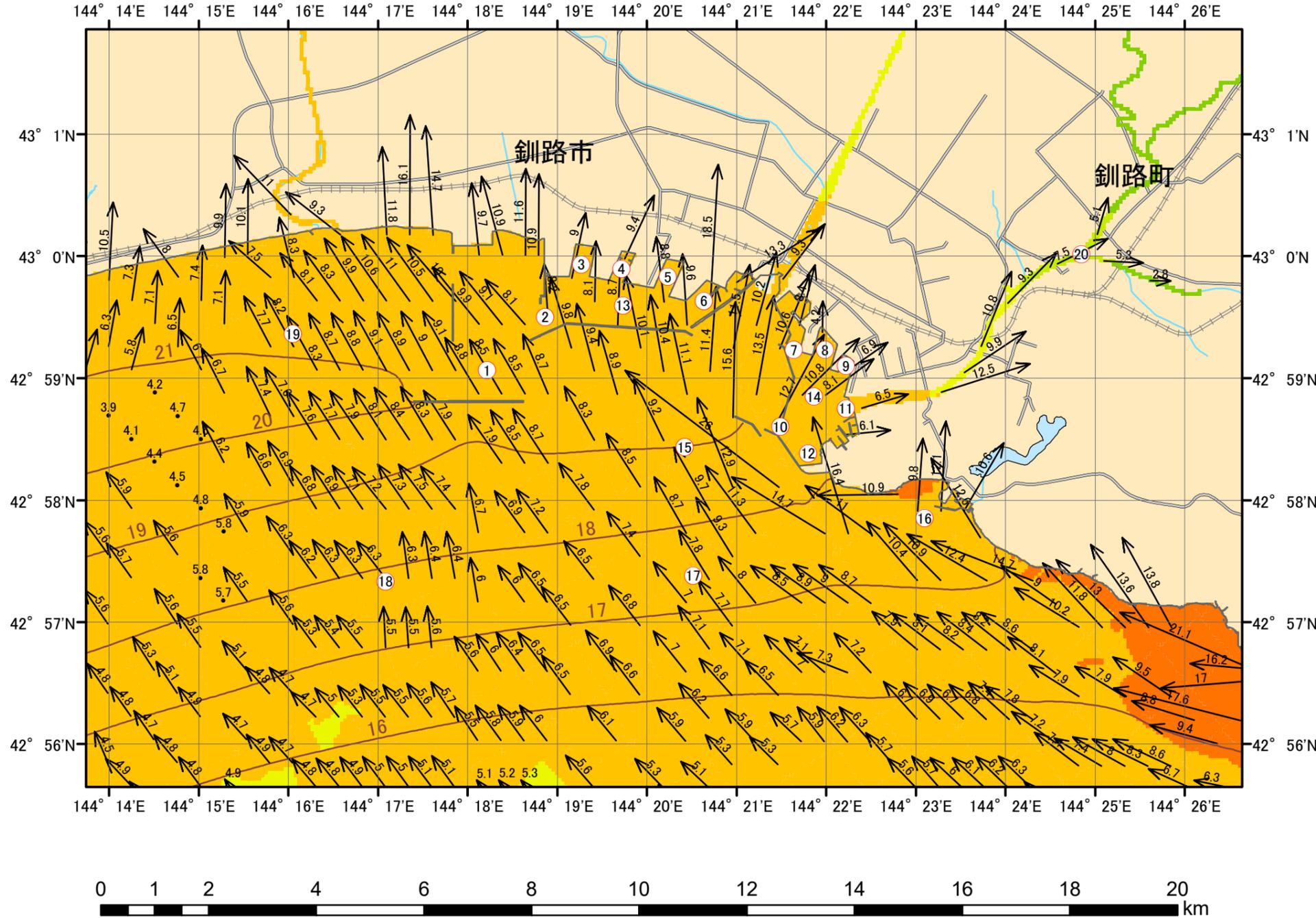
断層モデル



千島海溝(十勝・根室沖1)モデル

モーメントマグニチュード Mw 9.3

本断層モデルは、内閣府の「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会」で検討されたモデルである。



- 本図の作成にあたっては、”津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)” を使用した。
- 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 - ・海上保安庁が保有する水深データ
 - ・国土交通省国土数値情報 (ダウンロードサイト <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html> (2021年8月2日取得))

作成機関：海上保安庁
 防災情報図作成年月：令和 3年11月 (初版)
 地形データ作成年月：令和 3年 3月 (初版)